

大地震で停電したら？

地震の発生と同時に停電が生じた場合には、次の事態が想定されますので、心にとめておいて下さい。

■停電中は電気製品の電源を切る

停電中は電気製品の電源を切ってください。通電時に加熱して火災発生の危険があります。

■エレベーターの閉じ込め発生の可能性

4号棟から7号棟の全てのエレベーターは、震度4程度以上の揺れを感知すると最寄りの階に停止してドアが開く構造になっていますが、ドアが開く前に停電が発生すると、自動的に緊急停止装置が働きその場で停止します。エレベーター保守管理会社から救援が来るまで閉じ込められてしまいます。

救援までの時間は状況により異なりますが、大地震の時には救援を必要とする箇所が多数にのぼることから、長時間にわたる可能性が高いと思われます。救援が来るまでの間は、エレベーターに設置されている「緊急備品キャビネット」に備えられている非常用の備品を使用して救援を待ってください。

■夜間にエレベーター内に閉じ込められたら？

停電になるとエレベーター内の非常灯が点灯します。バッテリーで点灯できる時間は30分程度ですので、真っ先に「緊急備品キャビネット」を開けて、LEDライトの準備をしておいてください。そして、エレベーターに設置された非常用ボタンを押し続け、エレベーター保守管理会社を呼び出し、救援を要請してください。冷静な対応を心掛けましょう。



■共用部の夜間照明はどうなるか？

停電になると皆さんの住居内の停電と同様に、共有部の廊下・階段等の照明も停電しますが、適切な位置に設置された非常灯が自動的に点灯します。しかし、非常灯はバッテリー式で点灯時間は、30分程度です。夜間は、その後真っ暗になってしまいます。普段からの対策として、LEDランタン・懐中電灯・予備電池を備蓄してください。

■給水停止の可能性

水道は、給水管が破損しなければ、しばらく非常用エンジンによるポンプ駆動によって供給されますが、燃料がなくなった時点で断水します。非常用エンジンの燃料は、ガソリン（危険物）で備蓄できないため、補充できない場合は長時間の運用が難しくなります。

普段から飲料水を備蓄しておいてください。

■火災が発生した時は？

地震後に停電し、更に火災が発生した時は、高層棟に備えられた屋内消火栓は使用できません。 屋内消火栓のポンプは、モーターで駆動されていますので、停電時は作動しません。

出火後直ちに携帯電話で119番通報しましょう。 消火器等による火災の初期消火に失敗した場合は、すぐに避難しましょう。

以 上

作成年月日： 2017年6月16日